

性的暴行警報、男を指名手配

市警は、捜査進行中の性的暴行事件に伴い警報を発している。

状況は、

- 8月28日金曜日午前2時、18才の女性がスティールズ通り・バーチマウント通り地点でTTCのバスを降りた。
- 彼女は後ろから掴みかかった男に性的暴行を加えられた。

別の報告によると、

- 9月10日木曜日、真夜中をまわった時点で22才の女性が、マッコーワン通り・サンドハースト通り地点でTTCのバスを降りた。
- バスを降りた女性を同じ男が後をつけ、後ろから掴みかかって性的に暴行した。

さらに別の報告では、

- 9月10日木曜日、同じ男が、ケネディー通り・フィンチ東通りでバスを降りた17才の女性に掴みかかった。
- 後ろから掴みかかった男は、女性を歩道から草の生えた場所に引きずり込み、
- 性的暴行を加えた。

さらに報告によると、

- この男は、深夜TTCバスをスカボロー地区で利用する若いアジア系女性を狙っていると見られる。

犯人の人体は、褐色の肌色、25～30才、5ft4in～5ft7in(約160cm～168cm)、中肉で頭頂付近が縮れた黒い短髪。最後に目撃されたときには青いシャツに濃い色の半ズボンをはいていた。

JSS 説明

トロント市警は、性的暴力課のウェブサイトで、性的暴行を以下のように定義している。

「性的暴行とは、当事者双方に自由意志に基づく合意のない、直接ないしは間接の性的接触を表す、カナダで使用される法律用語である。性的暴行の例は、接吻、直接の接触ないしは性交などであり、双方の自由意志による了解なしに行われた場合をいう。

Sexual assault is a legal term used in Canada to refer to any type of sexual contact that occurs without the voluntary consent of both parties. Kissing, touching and sexual intercourse are all examples of sexual assault if they occur without voluntary consent of both parties.」

実際に性的暴行犯罪として扱われる範囲は、当事者同士の関係や加害者・被害者の性別とは無関係で、直接的な暴行などの接触はもとより、言語や態度によるかなり広範囲のものも含まれると考えられる。

万一被害にあった場合、警察ないしは病院に申し出れば、必要な処置を進めると共に必要に応じて犯人捜査に乗り出す仕組みになっている。事件の解決率はたとえば住宅侵入事件などに較べると格段に高率であるが、一方で事態の特殊性から通報率は大変低く(全発生件数の10%以下と言われる)、発生状況について常に推測が加わる状況である。

訳出した事件は、警察発表の典型的なものの一つであるとはいえ、この例とは全く異なる数多くの状況で事件や、事態が発生し

ているのが実情である。

各警察のウェブサイト(市警の場合 <http://www.torontopolice.on.ca/sexcrimes/sas/>)、ないしはパンフレットなどには予防法や危険を避ける方法、被害を受けた場合の対処の方法などが詳しく掲載されているので、参照されたい。

なお、性的犯罪者は繰り返し犯罪を犯す傾向が強いようであり、自身の被害を通報しないことで犯罪者を野放しにし、他に被害を及ぼさないためにも、被害は通報するようになりたい。

又、すでに何回か紹介したが、トロント市では女性の安全を図るために、夜間要望があれば TTC バスを乗降者の自宅至近地点に臨時停車させる。